Music maker 要件定義書

**目的**

リアルタイムで音楽制作できるwebアプリケーションの新規開発。

**概要**

グリット式のインターフェースに色をつけ、音階をつける。すぐに再生・停止ができ、作った音楽を聴くことができる。

**システム方式・構成**

アーキテクチャや全体のシステム構成図を記します。テキスト、またはネットワーク図などで記します。あまり詳細に書いても基本設計の時点で変更されることが多いので、あくまでも概要レベルに止めておくのが良いでしょう。

**用語定義**

文書内で使われている用語をまとめます。また、社内用語や業界用語についても記します。これらの認識がクライアントと開発側でずれていると、後で大きな問題につながる可能性があります。

**業務要件**

* GIGA スクール構想の実施により、生徒一人ひとりに端末が配布される動きが全国で行われていること。
* 音楽と科学技術の親和性が高い
* 小学校音楽教育教材の充実

**現状のフロー**

現状のフローを記述します。簡易的なものであればフローチャートで記述できます。複雑なものであればビジネスプロセスモデリング表記法、産能大式フローチャートなどを用いて記述します。

**構築後のフロー**

こちらはシステム構築後のフローです。こちらも現状のフローと同じく、簡易的なものであればフローチャートで良いでしょう。複雑なものであればビジネスプロセスモデリング表記法、産能大式フローチャートなどを用いて記述します。

**利用者一覧**

現状、および構築後における利用者（ステークホルダー）を一覧化します。この人たちはシステムに何らかの形で関わることになりますので、その変更内容を認識してもらう必要があります。また、システム構築後には教育なども必要でしょう。ここに漏れた人たちがいる場合、システム運用開始後にトラブルへつながる可能性があります。

**規模**

システムの規模を明記します。一般的に人月で記述しますが、さらにサーバーやネットワーク周りにおける変更が見込まれる場合には、その規模も記述しておきます。

**機能要件**

ここからは機能要件を記述します。機能要件はクライアントから求められる機能になります。

**画面**

新たに作成、変更される画面をリストアップします。

**権限**

機能における必要な権限設定について一覧化します。

**帳票**

システムから新たに出力される帳票、修正が加わる帳票をリストアップします。

**情報・データ**

システムが新たに作成するデータ、変更される既存のデータをリストアップします。

**外部インタフェース**

システムが外部サービスへ接続する、または外部サービスへのインタフェースを公開する場合に明記します。これらは別途セキュリティ監査の対象になり得るでしょう。

**データフロー**

業務フローではなく、データがどのように遷移するのかを明記します。これはテーブルデータで記述したり、フローチャートを用いて記述されます。

**非機能要件**

非機能要件とはプロジェクトに関係するものの、システム開発以外の要件になります。

**互換性**

プロジェクトが既存システムの更新である場合、旧システムとの互換性について明記します。もし互換性がない場合には、データ移行や多重運用することについて明記が必要です。

**スケジュール**

プロジェクト全体におけるスケジュールを記述します。開発フェーズはもちろん、テストや納品、運用教育やデータ移行などプロジェクトが円滑に完了するのに必要な項目を洗い出した上でスケジュールを決めます。

**予算**

プロジェクト全体における予算を記述します。開発はもちろん、サーバーなどの固定費用、保守運用に関わる費用も明記します。